

令和4年度第1回沖縄県立石嶺児童園指定管理者制度運用委員会
会 議 概 要

日 時：令和4年8月17日（水）10:30～12:00

場 所：県庁11階第2会議室

出席者：委員4名出席（富田委員欠席）

（委 員）沖縄女子短期大学教授 砂川麻世

（委 員）児童養護施設愛隣園施設長 上江洲肇

（委 員）沖縄キリスト教短期大学非常勤講師 砂川純子

（委 員）（社）ファミリーホーム連絡協議会副会長 神谷眞行

※欠席 富田税理士事務所 富田将孝

（議事進行）子ども生活福祉部 子ども福祉統括監 友利公子

（事務局） 青少年・子ども家庭課 神谷副参事、新里班長、新里

コザ児童相談所 自立支援班 山里班長

中央児童相談所 自立支援班 久高班長（通信機器の不具合で途中退席）

議 事 録

事務局

（事前に配布した要項（案）、仕様書（案）等について説明）

また、応募者が複数の場合の採点方法について、5年前の改正時は各委員の評価点を合計し、点の高い事業者を選定したが、今回、事務局案として各委員の評価点合計が高い順に順位点をつけ、各委員の順位点の合計が高い事業者を選定する方法を提案したい。

委員

指定管理者は5年に一度必ず公募する必要があるのか。指定管理者の変更は職員、ひいては子どもへも影響が大きい。

事務局

指定管理者の募集は公募が原則となっている。今回の公募にあたっては、児童への影響を最小限とするため、今採用されている職員をそのまま引き継いでほしい旨、要項へ盛り込んでいる。

委員

事務局提案の採点方法を提案した理由、考え方について。

事務局

特定の委員が事業者に極端に高い評価、低い評価を付けた場合に委員会全体としての評価に過剰に影響を与えてしまう恐れがある。極力委員ごとの評価を等しく平等に評価できるようにしたい。

委員

各選定基準については合計点が異なるが、同点の場合にその比重を含めて検討する必要はないか。

事務局

順位点が同点の場合は1位と採点した委員の人数で順位をつけることとしており、そこで差がつけられると考える。

それでは、従前の採点方法と今回の事務局案についてはいずれがよいと思われるか確認したい。

各委員

今回の事務局案でよい。

事務局

それでは複数の事業者を選定する場合には今回の事務局案にて採点することとする。

委員

採点表内、評価基準の配点について「劣っている」にも点が付くのは違和感がある。

事務局

「劣っている」にも点は付くが、最低基準として合計75点を取らなければ選定されない、というところで担保されているものと考えている。評価は22項目あるが、全て「普通」の評価を受けても最低基準を満たさない。

委員

要項内に職員の雇用、処遇の継続に配慮することが謳われているので安心した。また、要項等に含めるのは難しいとは思いますが、法人の理事等についても児童養護施設の運営に理解がある方が望ましい。

事務局

疑問点については応募資料等をご確認いただき、またプレゼンの中で質問、確認をいただき、その上で評価に含めて選定いただければと考える。

議事進行

他に、ご質問があれば。

各委員

特に意見等無し。